

高松地区防火安全協会会報

第 77 号

発行 高松地区防火安全協会

高松市番町二丁目八番十五号(高松市消防局予防課内)

TEL・FAX 087-88716918

印刷・藤田印刷株式会社

秋の火災予防週間(11月9日～11月15日)

火災が発生しやすい時季を迎えます。火災予防意識の二層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

高松地区防火安全協会は、消防機関と協力して火災予防運動がより効果的に展開されるよう推進いたします。会員皆様方の格段の御協力をお願い申し上げます。



高松市消防局
高松市消防団
高松地区防火安全協会

消防団員
募集中

推進項目

- ① 地震火災対策の推進
 - ② 住宅火災対策の推進
 - ③ 林野火災予防対策の推進
- ① 防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ② リチウムイオン電池火災など製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
 - ③ 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
 - ④ 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
 - ⑤ 放火火災防止対策の推進

重点推進項目



高松地区防火安全協会では、秋の火災予防運動に際し、火災予防普及啓発ポスター及チラシを作成し、より地域に密着した広報活動を目指します。今年度のポスターは、総合防災訓練で活躍する消防団員がモデルとなっています。



協会事業だより

いざというときのために……

令和7年9月5日、10月7日に高松市民防災センターにおきまして、高松市消防局消防防災課様の御協力のもと、55名の会員が参加され、普通救命講習会が開催されました。

普通救命講習とは、救急車が到着するまでに行う救命技術の習得を目的とする講習会です。胸骨圧迫、AEDの取扱い、気道異物の除去などを実際に行っていたきました。

皆様真剣に受講されましたので、有意義な講習になったと思います。多数の方が習得すること、あなたが「救える命」があるかもしれません。まだ、受講されていない方は是非、御参加ください。

御参加いただいた方の体験記を御紹介します。

講習を通じて応急手当の重要性・胸骨圧迫・AED使用の知識・気道異物の除去方法・回復体位、救急車の呼び方・技術習得に触れました。

実践講習では、倒れている人をみつけたら、まず周囲の安全確認をします。その後、傷病者の両肩を叩きながら声をかけます。反応がなかったら大声で助けを求め119番通報とAEDを持ってきてもらいます。

その後、呼吸の確認（10秒以内）、無かったらすぐに胸骨圧迫を開始します。その際の位置は胸骨の下半分・胸の真ん中あたりを圧迫、1分間に100〜120回の速さ、約5センチの深さまで、絶え間なくおこないます。中断は最小（10秒以内）にして続けることが大事だと学びました。AEDが到着したら胸骨圧迫を代わってもらい、電源を入れてから者に触れていないことを、必ず確認してからシヨツ

クボタンを押す。終わったら、直ぐに胸骨圧迫を再開します。

職場にAEDはありますが使用方法がわからず実際に使う事になったら本当に使用出来るのか不安でしたが、人形を使つての胸骨圧迫やAEDの練習をしたことで、不安が解消され、自信がもてるようになりました。

救急車が到着までには15分程かかるそうで、その間に救命処置を実施することで救命率が高くなるそうです。いざと云う時には、今回学んだ内容を周りの人と協力して適切な応急処置が出来るようにします。

普通救命講習は以前から興味ありましたが、今まで受講機会がなく今回参加出来てよかったです。

最後に、今回教えていただいた消防局の方の講習内容・実践等は非常に分かり易かったです、ありがとうございました。

目の前に助けられる命があれば躊躇なくおこないたいと思いました。

(高橋石油株式会社 青山 直樹)



防災知識を身に付けよう！

令和7年9月19日、香川県防災センターにおきまして、32名の会員が参加され、防災体験が開催されました。

地震、消火、濃煙避難といった体験ブースを回り、実際に体験をしながらセンター職員からの説明を受けました。

災害時の「トッサの行動」は、一度では身につけません。二度三度と繰り返すことで、身につけることができます。体験されたことが無い方はこちらののこと、以前体験された方も是非進んで体験して下さい。

御参加いただいた方の体験記を御紹介します。

この度、香川県防災センターにて実施された災害体験に参加させていただきました。

煙避難体験では火災による煙と停電を想定した視界不良の中、誘導灯を頼りに出口まで移動する必要がありました。煙を吸わないよう姿勢を低くして進むのは思った以上に困難であり、特に初めて訪れるような場所においては避難経路を確認しておくことの重要性を学びました。特に南海トラフ地震を想定した震度7の地震体験では、家具等が固定されているなかであっても大きな揺れに身動きが取れず、改めて地震の怖さと準備しておくことの大切さを学びました。

今回の体験を通じ「備えの大切さ」を再認識しました。災害時に少しでも落ち着いた行動が取れるよう日頃から防災への意識を高めていきたいと思います。

(四国ガス株式会社高松支店 河上 大輔)



災害発生！あなたはどこうする？

令和7年9月26日、10月10日に17名の会員が参加され、あなぶきP.M.アカデミー体験学習会が行われました。

当施設では、屋内消火栓設備を用いた放水体験、火災発生時の自動火災報知設備の操作要領、避難体験など、火災減災に対する実践的な体験が可能です。御参加いただいた方の体験記を御紹介します。



今回初めて学習会に参加し、消火体験や避難体験をさせて頂きました。

消火設備の使い方や消火のポイント、使用する際の注意点などを教わると共に、消火を試みるか避難するか判断の目安や避難ルートの選択方法等、たいへん有益なお話を聞く事ができました。

また、屋内消火栓を使用する際の放水やペランダの隔板の破壊等、体験してみても初めて分かった事もあり、それに対する備えの重要性も実感する事ができました。

今回の体験を通じて自社の消火設備やその周知方法について再度確認する良い機会にもなり、たいへん有意義な時間を過ごす事ができたと思っております。貴重な機会を頂きありがとうございました。

(株式会社村上製作所 神原 浩昌)



祝 設立25周年記念

当協会設立25周年記念事業として、高松市・三木町・綾川町の各小学校に、防災教育用DVDを寄贈しました。

東日本大震災を始め、竜巻や噴火、土砂崩れなど日本各地で災害が頻発しています。災害は場面を選ばずに襲ってきます。災害に対する被害を最小限に食い止めるためには、児童生徒自身が、災害発生時に、自ら当事者として自覚的に行動し、避難行動をすすめることが重要です。

そのためには、日頃から子供達自身の防災マインドを高める防災教育が必要です。



また、会員事業所には記念品として、災害時にもとより、日常的にも使用可能な折り畳み簡易トイレを配布しました。トイレ以外に椅子、ゴミ箱、収納ボックスなどの用途に使用可能です。

今後30年以内の発生確率が60%・90%程度以上と言われている南海トラフ地震を始め、大規模災害への備えは急務となっておりますが、今回の寄贈品及び記念品は、いずれも防災対策になるものであり、また、これを機に、より一層、防災意識の高揚が図れるものだと考えております。



静電気対策大丈夫ですか？ 事故事例を御紹介しますので、静電気対策の参考にしてください。

1

アース
未接続

- ・危険物を金属製容器と漏斗を使用して移し替えていた時に、容器内の油面に蓄積した静電気と漏斗から落下する際に発生した静電気間の放電により引火
- ・原因:容器へのアース未接続、静電気が発生しやすい危険物を移し替える場合に低流速で静かに注油しなかった。

2

許可外の
機器使用

- ・許可を受けた移動タンク貯蔵所の機器では、荷下ろし先のタンクへの荷下ろしができなかったため、荷下ろし先の静電気対策を施していない許可外エアポンプ等で荷下ろしを行った後、ポンプ等をタンク注入口から抜き取る時に、静電気が発生し、可燃性蒸気に引火
- ・原因:静電気対策を施していない許可外の機器の使用、機器へのアース未接続

3

静電気除去
未実施

- ・セルフガソリンスタンドで手袋を脱がず、かつ、静電気除去シートに触れずにバイクに給油していたところ手袋等に帯電した静電気により火花が発生し、可燃性蒸気に引火
- ・原因:静電気が帯電しやすい手袋を着用しての給油、静電気除去をしていなかった。

4

継ぎ足し
給油

- ・セルフガソリンスタンドで給油中に満量停止装置が作動した後、給油ノズルを引き出し、継ぎ足し給油を行っていたところ、衣類に帯電した静電気により火花が発生し、可燃性蒸気に引火
- ・原因:継ぎ足し給油により、可燃性蒸気がより外気に放出されやすい環境になったこと。
※満量停止装置は、文字どおり満量になったことを示すため、継ぎ足し給油は行わない。

5

静電気が
蓄積しやすい
環境での注油

- ・荷台を絶縁性荷台保護パネル(シート)で覆った軽トラックの荷台上でガソリン携行缶にガソリンを注油した際に、容器に静電気が蓄積し、可燃性蒸気に引火
- ・原因:容器へのアース未接続、容器に静電気が帯電しやすい環境であった(絶縁素材を携行缶の下に敷いていた。)、容器を地面に着けていなかった。
※ステンレス製水筒にガソリンを注油中に引火した事例もあり、監視体制の強化も重要

危険物が起因した火災では、静電気が発火源となる場合が多く、これからは、発生・帯電しやすい季節になります。危険物事故は、自社だけではなく、社会的影響が大きいため、静電気対策・静電気に対する知識の確認を行い事故のないように努めてください。



令和7年度 各種講習・試験案内

■甲種防火管理 新規講習

日時 令和8年2月3・4日
会場 香川県土木建設会館
申込 令和7年11月27日～12月4日
期間

■甲種防火管理 再講習

日時 令和8年3月4日
会場 香川県土木建設会館
申込 令和8年1月21日～28日
期間

■防火・防災新規講習(併催)

日時 令和8年3月10・11日
会場 香川県土木建設会館
申込 令和8年1月26日～2月2日
期間

問い合わせ先▼

(一社) 香川県消防設備協会
☎087-833-4797

■危険物取扱者試験

日時 令和8年3月7日(乙種4類)
令和8年3月8日
(甲種乙種1・2・3・5・6類丙種)

■消防設備士試験

日時 令和8年1月11日 全種全類
会場 香川大学創造工学部

申込 令和8年1月14日～23日
会場 香川大学創造工学部
期間

申込 令和7年11月20日～12月1日
期間

問い合わせ先▼

(一財) 消防試験研究センター香川県支部
☎087-823-2881

■香川県危険物取扱者保安講習

日時 令和7年11月26日
会場 観音寺市民会館
(ハイスタッフホール)

日時 令和7年12月12日
会場 香川県庁ホール(県庁東館2階)

問い合わせ先▼

香川県危険物安全協会連合会
☎087-812-6633

